

アンドロメダ銀河と東海湖

中日新聞 桑員ホームニュース「宇宙の玉手箱」の原稿依頼がありました。2019年9月14日に掲載されました。



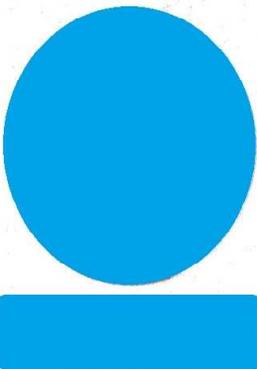
2019年9月14日 土曜日

桑員ホームニュース

「11のとり桑名」
宇宙の玉手箱 ⑪

秋の夜空を飾る星座にアンドロメダ座があります。ここには有名なアンドロメダ銀河があります。小型の望遠鏡でも見られる渦巻き銀河で、われわれの住む天の川銀河より大きいです。

アンドロメダ銀河までの距



アンドロメダ銀河と250万年前の桑名

離は250万光年。光の速さで250万年かかる所にあります。言い換えると、私たちが見ているアンドロメダ銀河は250万年前の姿ということになります。

では250万年前、桑名はどうなっていたでしょうか。当時、桑名は今の琵琶湖と同じくらいの広さがあった東海湖という湖の底でした。東海湖周辺は、化石からメタセコイアの生い茂る森林が広がり、アカシゾウなどの動物が生息する豊かな自然環境だったとされます。ちなみに周辺にはまだ人類はいなかったようです。